

丹波縄文の森塾 活動報告

令和7年9月23日（祝・火） 曇



里山散策



きょうは秋分の日、昼と夜の長さがほぼ同じになる日。里山散策と稲刈りをしました。里山散策では、森づくり活動アドバイザーの角谷先生にドングリの種類や秋の里山にある植物について説明を聞きながら散策しました。丹波の森公苑には、コナラ、カシワ、クヌギ、アベマキ、マテバシイ、スダジイ、シラカシ、アラカシ、ウバメガシ、クリなど約10種類のドングリがあります。それぞれの特徴を知ることができました。



拾った栗



去年はほとんどドングリがならず全国的に凶作の年でしたが、今年はたくさんなっています。ただ、まだ少し時期が早かったようで、カシワ以外のドングリはほとんど落ちていませんでした。拾ったドングリは、ポットに植えました。芽が出てくれるのが楽しみです。



稲刈り



昼食はサツマイモご飯とふわふわ玉子の味噌汁。甘いサツマイモのご飯と玉子の味噌汁がよく合っていて、おいしくいただきました。昼食後は、中庭で虫取りや杉本サポーターに作ってもらったPPバンド（荷造り用のバンド）のボールなどで遊びました。



稲木掛け



午後は稲刈り。みんなで協力して稲を刈り、わらで束ね、稲木に掛けていきました。昔ながらの稲刈りを楽しみました。稲をわらで束ねるのが難しく、最初はなかなかできなかったのですが、慣れてくるとできるようになりました。何事も経験ですね。次は脱穀に挑戦です。